

港区立高松中学校

令和 4 年度 授業改善推進プラン

1 本校における課題

国語	<p>教材を学習後、筆者の主張をまとめたり、作品のあらすじを捉えたりすることができる生徒が多い。しかし一人で読み進めるだけの漢字学習が足りない生徒や、まとめた内容やあらすじを自分の考えと関連付けてまとめることは苦手な生徒がいることも事実だ。</p> <p>すべての学習の基礎基本である漢字を自ら使う機会を多く設け、作文の型を示し練習することで、自分の考えを表現できるようにする指導が必要である。</p>
社会	<p>生徒は事実に知識を習得し、一問一答式でアウトプットする作業は得意である。また説明的知識に関しても、丸暗記すれば済む内容に関して習得することは多くの場合困難でないことが見て取れる。論述に関しても授業のワークシートで書かせる活動を多く取り入れているため、大きな抵抗なく大半の生徒が取り組むことができる。一方で獲得した知識を他の知識と関連付けて考察したり、事実を根拠として自分の意見を構築することができない生徒が一定数存在する。思考力を高めるための指導が必要である。</p>
数学	<p>【1年】基本的な内容は、ほとんどの生徒が理解できており、知識や技能に関する問題は意欲的に取り組んでいる。一方で、文章を読み、答えを導くための条件を整理し、式をたてるような問題は苦手と感じている生徒も少なくない。基礎基本の確かな定着を図るとともに、思考・判断・表現力の向上を目指す指導が必要である。</p> <p>【2年】1年次より数学科担当教諭が変わり、定期考査において不慣れな感があり、やや緻密さに欠け、初歩的・基本的な問題の不正解が少なくなかった。また、本校だけの課題ではないと考えるが、観点Ⅱ思考・判断・表現が観点Ⅰ・Ⅲに比べ低い評価になっている。技能の正確さに加え、思考・判断・表現の向上が課題である。</p> <p>【3年】基本的な知識・技能に関しては理解しているようであるが1学年、2学年の内容の定着が不十分なために、3学年の内容の定着までたどり着いていない生徒もいる。また、基本的な事項をふまえて、他の知識と関連付けて考察したり、多様な知識を用いて思考することができない生徒が存在する。観点Ⅱの思考力・判断力・表現力を高める指導が必要である。</p>
理科	<p>暗記した知識を記述することは得意だが、キーワードを用いて説明したり、計算結果やグラフの内容から考察する活動について、苦手としている生徒が多い。また、単元内容（特に「電流と磁界」や「質量保存の法則」など）によって理解度に差もみられる。基礎・基本の確実な定着と、データのグラフ化や計算のトレーニング、化学変化と質量の関係の十分な理解等が必要である。</p>
外国語	<p>基本的な英単語や基本文の理解はほとんどの生徒ができています。また、それらを用いて聞くこと・読むこと・話すこと・書くことに取り組もうとする意欲がある。話すこと（やり取り）に関しては、ペアやグループで積極的に行っているが、クラス全員の前でのスピーチでは声の大きさやアイコンタクトに課題がある。十分な練習時間をとって、自信をもってパフォーマンスができるよう指導の改善が必要である。</p>

2 各教科及び特別の教科道徳、特別活動、総合的な学習の時間の具体的な授業改善

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
国語	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報を受け止め、主体的に判断しながら、課題を解決する能力。 ・ 目的に応じて必要な情報を見出し、場面や相手にふさわしい表現を工夫する能力。 	<p>漢字の読み・書き、文法、説明文の読解等で身につけた知識、見方、考え方を応用し、スピーチ原稿、意見文を作成し、その過程をテーマ作文に応用するなど、各領域の学習内容を生徒が調整しながら学習に取り組めるよう課題を設定し、それを支援する。また、各学年と連携しながら、総合的な学習の時間などにも、国語で学習したことを応用していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
社会	<p>様々な資料から情報を適切に取り取り、社会的事象や社会的な課題を理解する力。様々な状況で発生する社会的な課題を多面的・多角的に考察する力。主体的に社会に参画し、持続可能な社会を形成していこうとする意欲や態度。</p>	<p>教師からの一方的な内容教授ではこのような資質・能力が育まれないのは当然である。生徒が考えたい、追究したい課題を用意し、見方・考え方を働かせることのできる問いを設定する。そして単元を通じてその課題の解決を図っていく単元設計を行うことが肝要である。そのような真正の問いを立てることで、はい回る事のない、思考が活動的である深い学びをめざす。また ESD の視点を取り入れることで社会の持続可能性に注目させ、社会的な課題に当事者意識をもたせ、主体的に他者と協働しながら社会参画していこうとする態度を育成していく。</p>
数学	<p>【1年】数学的な思考力・判断力・表現力 【2年】計算等の技能の正確性、文章題の思考・判断・表現の向上 【3年】数学的な思考力・判断力・表現力</p>	<p>【1年】習熟度別少人数指導を活かし、演習での個別指導を充実させ、基礎基本の定着を図る。また、課題解決学習を取り入れ、グループ学習や教えあい、他の生徒と意見交換を行い、思考力・表現力・判断力を養っていく。</p> <p>【2年】習熟度別少人数指導を活かし、問題演習の解答を適時一人ひとり確認し、必要に応じて指導・助言する。また、提出物について細かく点検し、不十分な箇所には印を付け、改善を促す。</p> <p>【3年】習熟度少人数指導を活かし、基礎・基本の定着に関しての指導を充実させることが必要である。数学と日常との関わりや数学の事象から問題を見出し、課題解決していく授業を構築することによって、思考力・判断力・表現力を養っていく。</p>
理科	<p>【全学年】・基礎・基本の確実な定着 ・データのグラフ化とグラフの読み取り能力の向上 【2学年】生物の特徴と分類の確実な理解 【3学年】化学変化と質量の内容の理解向上</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・小テストやスモールステップ学習等で基礎の確実な定着を行う。 ・教え合う授業を行い、ある程度理解している生徒の確実な理解を促すとともに、理解が不十分な生徒のミニティーチャーによる理解度向上を図る。 ・グラフの扱いを、基本から応用まで、例題や練習問題に取り組みながら時間をかけて行っていく。 ・具体例を多く示しイメージをつかみやすくするとともに、小テストによる知識の定着を図る。 ・問題集、演習問題等を利用した数値を扱った内容や、グラフの扱いについて時間をかけて行っていく。
音楽	<p>音楽に対する感性を働かせて、音楽を形作っている要素とその働きの視点でとらえ、自己のイメージや感情、生活や社会、伝統や文化と関連づける。</p>	<p>歌唱や器楽において、反復練習とゆっくり練習が最も大切な基本練習となる。その上でアーティキュレーションやアゴーギグなどの技術や表現を工夫していくことを心がける。対話的な学び合いを音楽によって図りながら指導していく。</p>

	育成を目指す資質・能力	資質・能力を育む指導方法・指導体制の工夫
美術	感じ取ったことや考えたこと、目的や機能などを基に発想し、構想を練る力。基礎・基本的な技能を習得し、創造的に表す力。美術作品や生活の中の美術の働きについて、広い視野で捉える力。	授業開始時に、制作の目的や目標を明確にし、見通しをもたせる。制作の活動と鑑賞の学習を関連させ、発想力・構想力を高める。平塗りや浮彫りなどの基礎技能を定着させ、応用力を培う。鑑賞の授業では、美術作品と歴史や生活との関係を確認し、より深い学びにつなげる。
保健体育	運動構造や運動の行い方の深い理解。その運動の実現に向けて自己の課題を設定し、自己調整しながら取り組んでいく力。	運動構造の分解と段階的な指導により、運動構造の理解に努める。また、その運動を行っていく際に必要な力や技術、動きを考えさせるために学習カードで課題を可視化する。また、客観的なアドバイスをし、運動の躓きの理由を考えさせて自己調整を図らせる。
技術・家庭	身近な家庭から社会における課題を最適化するために、課題を発見、追及、解決するために必要な思考力、判断力、表現力の向上	授業で継続的に、社会の最適化についての枠組みを考える。例えば、社会の要求、安全性、環境への負荷、経済性の視点など。それを踏まえて、①技術の見る目を養い、最適化への糸口に気付かせる。②「あったらいいな」を考えさせ、問題解決に主体的に取り組ませる。
外国語（英語・国際）	【3年】単語を正確に書く力 【2年】単語を正確に書く力 語形変化や語法を理解する力 【1年】文の構造を理解する力	<ul style="list-style-type: none"> ・ビンゴを用いた帯学習による繰り返しの単語学習に加え、語彙に関する小テストを行い、定着を図る。 ・ビンゴを用いた帯学習による繰り返しの単語学習や小テストを行う。また、演習問題を通して基本的な文法操作の定着を図る。 ・音読練習や会話活動に重点を置くことにより文の構造をインプットし、授業プリントで定着を図る。
道徳	道徳的諸価値とその多様性を理解し、物事を多面的・多角的に考え他者を受容し、自身の考えを深める力。また、自分がどのように生きるかについて道徳的に判断していこうとする能力。	話し合い活動を充実させ、他者の考えを受容する態度を培うことで、物事を多面的・多角的に考えさせ、自身の考えを深める力を養う。発問の精選をし、問い返しを行うことで生徒の考えを深め、道徳的実践意欲や道徳的実践力を培う。
特別活動	自ら進んで課題を設定し、他者と協力しながら集団の一員として課題解決に取り組む力。また自分が所属する集団をより良いものにしていこうとする態度。	学級活動、生徒会活動、学校行事において、生徒たち自身に課題を設定させ、どのように解決・達成していったら良いかを考えさせる。そこで集団の中での役割を自覚させ、集団としてよりよいものを作り上げていこうとする態度を様々な人の立場を考えさせることを重視しながら育てていく。
総合的な学習の時間	主体的に課題を設定し、その課題を探究していく過程を理解し、各教科で身に付けた資質・能力を生かしながら他者と協働して課題解決していく力。	生徒たちが課題を探究していくためには探究のプロセスをよく理解する必要がある。各教科で身に付けた力を横断的に活用させながら、様々な意見を受け入れながら話し合い、自分たちのアイデアをまとめ、相手の立場に立って伝わりやすい発表を行う機会を意図して設定していく。